

# 【小施策評価(令和元年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	文化国際課	
施策	12	芸術文化の振興	評価 責任者	下田 法子	内線 3710
小施策	12-2	文化施設の整備と活用	評価 シート 作成者	齋藤 克幸	内線 3711

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
文化会館は各施設とも建設から20年以上経過しており、設備も老朽化してきていることから、安全・快適で機能的な活動環境の提供に当たっては、適正な管理運営と計画的な施設設備の修繕や更新に努める必要がある。また、寄贈を受けた多数の市所蔵美術品の管理や有効活用を図る必要がある。		文化施設利用者へのサービス向上のため、計画的に設備の更新、修繕を実施する。また、市民の自主的・創造的な芸術文化活動が活発に行われるように、文化施設の活用を図る。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
芸術文化施設		芸術文化活動の場として、より活用が促される。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析
指標① 文化会館平均利用率	%	↗			
当初値 (H25)	72.3	R1目標値	73.5	R6目標値	75.0
			・特になし		・特になし
<p>・全ての文化会館で昨年度の利用率を下回り、大きく落ち込んだ。(△7%)</p>			問題点	⇒	問題の要因分析
<p>・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う施設の利用自粛により、令和2年2月末及び3月分の利用キャンセルが生じたため。</p>			成果点	⇒	成果の要因分析
指標② 文化会館利用者数	人	↗			
当初値 (H25)	432,906	R1目標値	440,000	R6目標値	450,000
			・展示ホールの利用者数が平成30年度に比べ4,856人増加した。		・展示してある作品を鑑賞してもらう従来のスタイルから、新しい試みを企画した「体感型アート」が好評であり、展示ホールの利用者が増加した。
<p>・展示ホールの利用者数が平成30年度に比べ4,856人増加した。</p>			問題点	⇒	問題の要因分析
<p>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、施設の利用自粛により、令和2年2月末及び3月分の利用キャンセルが生じたため全体での利用者数が減少している。</p>			成果点	⇒	成果の要因分析
<p>・全体の利用者数が平成30年度と比較して34,216人減少した。</p>			問題点	⇒	問題の要因分析
<p>・施設の経年劣化に伴い、計画的な設備の更新が修繕が求められている。</p>			成果点	⇒	成果の要因分析
<p>・舞台設備、音響設備、照明設備と文化会館の設備は特殊で、かつ、多額の費用を要するが、長寿命化修繕の対象外となり起債が使えないため、一般財源の確保が困難な状況になっている。</p>			問題点	⇒	問題の要因分析

## 今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<p>★ 盛岡市芸術文化推進計画に基づき事業に着手する。</p> <p>★ 盛岡市芸術文化推進計画に基づく効果的な事業展開について、指定管理者、芸術文化関係者等との意見交換を行い、年度別実施計画の策定について検討する。</p> <p>☆1 芸術文化推進計画及び実施計画に基づき、PDCAサイクルにより目標達成に向けた事業を進めていく。</p> <p>☆2 芸術文化推進計画及び実施計画に基づき、芸術文化関係団体と連携して事業を進めていく。</p>	
<p>★ 平成29年度及び30年度に実施した舞台設備更新調査の結果を踏まえた舞台設備の更新計画を策定する。</p> <p>★ 芸術文化推進計画及び実施計画に基づき、計画的な修繕を実施するため、ネーミングライツやふるさと納税を活用した財源確保について検討する。</p> <p>☆1 (仮称)盛岡市芸術文化振興基金を活用した計画的な修繕を実施する。</p>	